

ダイアログモジュール(D-module) 学習モデルチュートリアル

～効果的な学習の進め方～

ダイアログモジュールとは

ダイアログモジュール(D-module)では、ことばを使って何かをしたいときに使える**機能表現**を、**会話(ダイアログ)**を通して、**具体的な場面**の中で学んでいきます。

それぞれの機能は**いくつかのテーマ**に沿って分類されていますので、**必要に応じて好きな機能を好きな順番**で学ぶことができます。

あいさつをする
場所をたずねる

機能
(function)



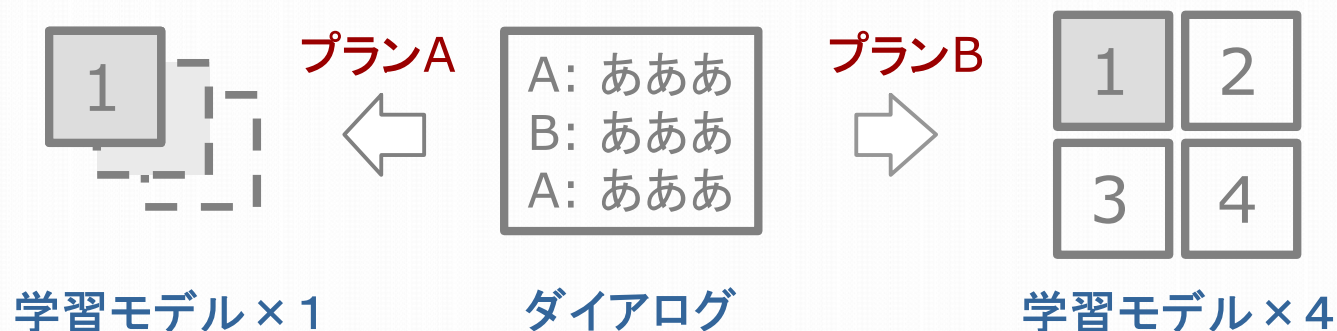
「こんにちは」
「〇〇はどこですか」

表現
(expression)

ダイアログの学び方

また、それぞれのダイアログは、**目的に応じて**いろいろな角度から学習できるように、**4つの学習モデル**の中から、**好きなモデルを選んで**学習を行うようになっています。

すべてのダイアログを**1つのモデル**だけで集中的に学習するのも、それぞれのダイアログを**4つすべてのモデル**で繰り返し多面的に学習するのも、各自の**学習プラン**に基づいて、**好みで選べる**ようになっています。



学習モデルのコンセプト

学習モデルの**基本的なコンセプト**としては、聞いたり読んだりするだけでなく、**実際にことばを使用していく**中で表現を学んでいくということがあげられます。

言語の学習にはことばを**インプット**するだけでなく、それを**アウトプット**して、使ってあげることが必要となるわけです。

そういったことから、学習モデルは大きく、**スピーキングモデル**と**ライティングモデル**とに分かれます。話したり、書いたりする中でことばを学ぶわけです。



スピーキングモデルとライティングモデル

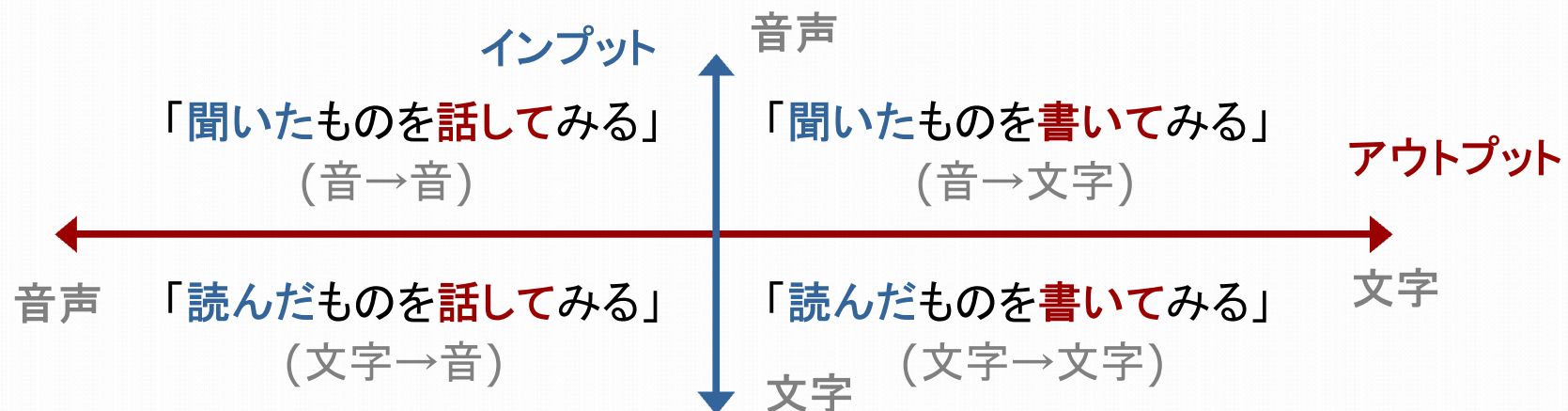
ダイアログモジュールは会話表現を学ぶことを目的としていますので、スピーキングモデルを選ぶ方も多いと思いますが、話すのが苦手な方や学習環境により難しい方、逆に、話すだけでなく書くことを通して学んでみたいという方は、ライティングモデルを選択するといいいでしょう。

ライティングモデルでは、**アウトプット**として、スピーキングモデルのように音声を録音するのではなく、**タイピング**をして文字の書取りをすることになります。

リスニングベースとリーディングベース

また、これらのモデルは、**インプット**として、**聞くこと**と、**読むこと**のどちらを重視するかによって、さらに2つずつのモデルに分かれます。

つまり、**リスニングベース**であるのか、**リーディングベース**であるのかということです。これにより学習モデルは、**4つのモデル**に分かれることとなります。



4つの学習モデル

それぞれのモデルでは、上記のコンセプトに基づいた**具体的な学習活動**にそって、**ダイアログの練習**をすることになります。個々のモデルの活動としては、**わかりやすく、目的のはっきりと見える**ようなものが選ばれています。

「 ロールプレイモデル 」	(リスニングベース・スピーキングモデル)
「 音読モデル 」	(リーディングベース・スピーキングモデル)
「 ディクテーションモデル 」	(リーディングベース・ライティングモデル)
「 コピーイングモデル 」	(リスニングベース・ライティングモデル)

モデル1「ロールプレイモデル」

このモデルでは、聞いた音声を文字にたよらず口頭でリピートしてみることから始まり、最後にはパートごとにモデル音声と会話の模擬練習をして、**即時の応答ができるようになること**を目的とします。

どちらか一方の役になりきって会話をするためロールプレイモデルと呼ばれます。

モデル2「音読モデル」

文字を読んで、音読をするモデルです。はじめは**モデルをまねるところから**始めますが、**だんだんと慣れてきたら、モデルにたよらずに**読めるようにします。

また、**モデル音声に重ねて読む活動(シャドウイング)**などを取り入れて、**自然な速さで**読めるようにしていきます。

モデルの音声を**正確にまね、自律的にナチュラルスピードで**読めるようになることが目的となります。

モデル3「ディクテーションモデル」

音声を聞き取って書き取る、ディクテーションをすることによって、**聞き取りの正確さをあげる**ことを目的としています。音での理解と文字とを結びつけて、書くことができることが必要となります。

その意味ではリスニング能力を伸ばすのに効果があります。**聞き取る箇所を徐々に多く**することにより、段階的に聞き取りの能力を上げていきます。

モデル4「コピーイングモデル」

文字を読んで書き写す、コピーイングの活動を通して、文字に親しみ、**ライティング能力を伸ばす**とともに、時間をかけて**意味を読みとっていく**ことを目的とします。

音声モデルも聞きますが、それはあくまでも補助的なものであって、**単語リスト**などを参考にしながら、文字を通して意味を読みとっていきます。